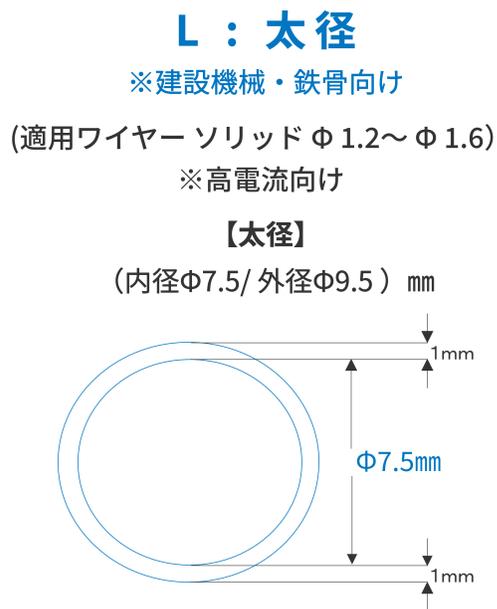
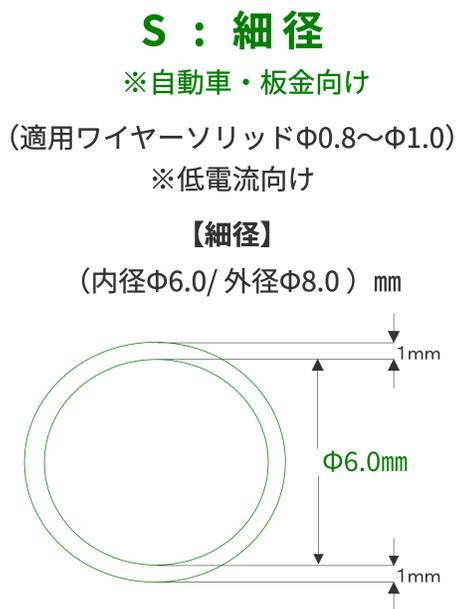


スーパーフレコン注文時の留意事項

① 使用するワイヤー径を確認し、チューブを選択して下さい。

※ワイヤー径φ1.2の場合は太径にて提案して下さい。



② 必要なチューブの長さを確認して下さい。

●030→3.0m、

●035→3.5m、

●040→4.0m ~ 100→10.0m

というふうになります。(10m以上も可)

※できるだけRがきつくなならないよう長めで採寸してください。

※チューブを適当なサイズに切断するときは、必ず鋭利なカッターで直角に切断してください。ハサミで切断すると端部が変形する恐れがあります。

③ 継手 (プラグ) は、使用するチューブのサイズに応じて選択して下さい。

・細径チューブ用、太径チューブ用を確認して下さい。

④ 継手 (ソケット) は、接続する機器メーカーを確認して下さい。

・下記スーパーフレコン継手形状早見表にて詳細を確認して下さい。

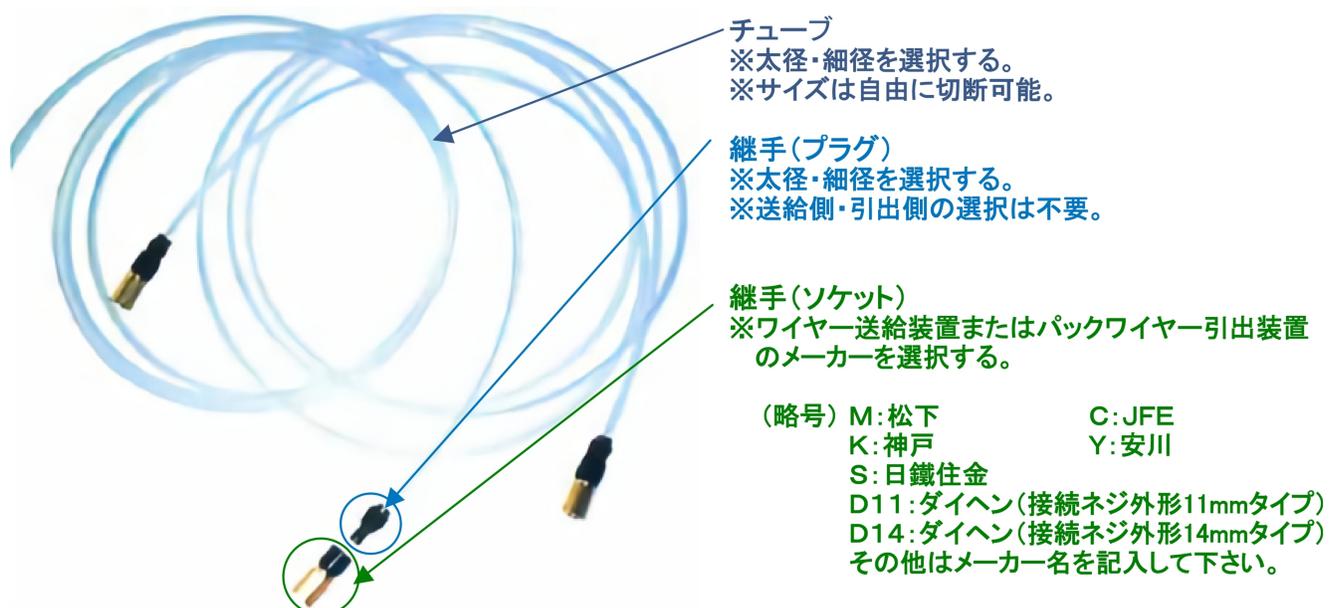
注文書・略号記入例



【チューブは細径、長さ3m、送給装置が松下、引出装置が神戸の場合】

注文書の商品名には、

『SF-030MK-S』又は、『SF-030松下・神戸-S』と、記入下さい。



【継手（ソケット）のサイズについて】



※写真左側が、7/16-20 UNF 接続ネジ外形が約11mmです。

※写真右側が、9/16-18 UNF 接続ネジ外形が約14mmです。

※一般的なサイズは9/16-18 UNFですが、ダイヘン溶接メカトロシステムでは2種類の径が存在しますので必ずお客様の製品にて接続外形を確認して下さい。

	メーカー名	継手形状	備考
送給装置側	松下溶接システム(現:パナソニック)	9/16-18 UNF	
	ダイヘン溶接メカトロシステム	7/16-20 UNF	接続ネジ外形 約11mmタイプ
	神戸製鋼所	9/16-18 UNF	
	安川電気	9/16-18 UNF	
	ダイデン(旧)	9/16-18 UNF	
引出装置側	松下溶接システム(現:パナソニック)	9/16-18 UNF	
	神戸製鋼所	9/16-18 UNF	
	JFE溶接棒	9/16-18 UNF	
	日鐵住金溶接工業	9/16-18 UNF	
	トーキン	9/16-18 UNF	
	現代・高麗・キスウェル	9/16-18 UNF	
	ダイヘン溶接メカトロシステム	7/16-20 UNF	接続ネジ外形 約11mmタイプ
		9/16-18 UNF	

【継手（ソケット）の破損について】

※左側が破損前・右側が破損後



※破損部の拡大



こちらに力が加わり割れることによって送給装置にかかる負荷を軽減し、故障を未然に防ぐことができます。

スーパーフレコンの継手（ソケット）部分の材質はわざと割れやすく作られています。

⇒なぜか？

何らかの弾みでフレコンに無理な力が掛かったとき、従来のフレコンではチューブ・継手一体型又は全金属製継手のため、力の逃げ場が無くなり送給・引出装置側の機器に重大な損傷を及ぼす可能性がありました。

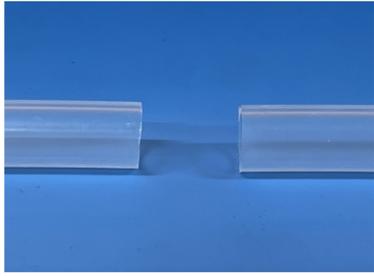
スーパーフレコンではその無理な力をソケットの特許素材部分に集中させることにより、ソケットが壊れ力を吸収。

結果、機器側へ掛かる力も最小限になり機器の重大損傷を防ぐこととなります。

復旧する場合も、壊れた継手部分のみ交換するだけで済み、費用と時間が大幅に節減されます。

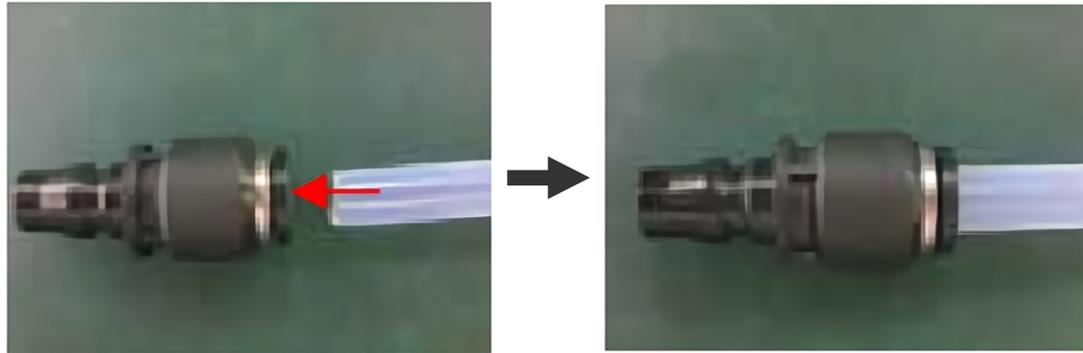
【スーパーフレコンを加工の際は取扱など下記方法を参考ください。】

①チューブを希望の長さにカットするとき



※切断するときは、必ずカッターナイフで直角に切断してください。
ハサミで切断すると端部が変形する恐れがありますので、ご注意ください。

②継手（プラグ）へチューブを差し込むとき

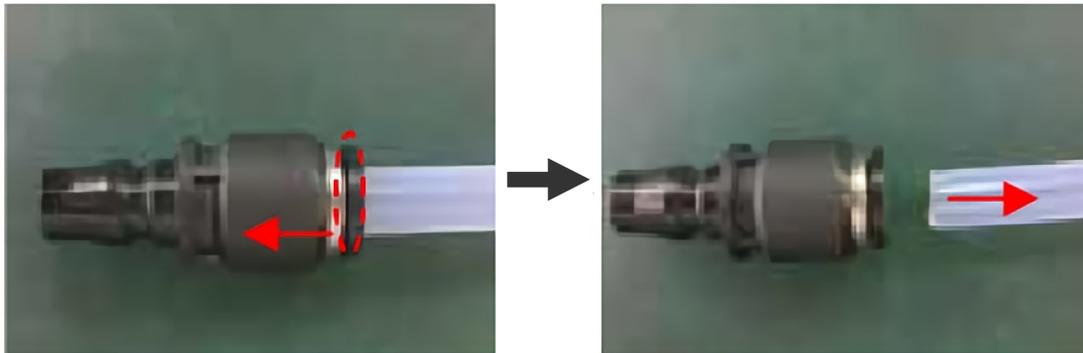


※チューブは簡単に押し込めますが、必ずしっかりと奥まで差し込みして下さい。



※外からは見えませんがプラグの中に金属歯があり、差し込みと同時にチューブをしっかり噛みます。

③継手（プラグ）をチューブから外すとき



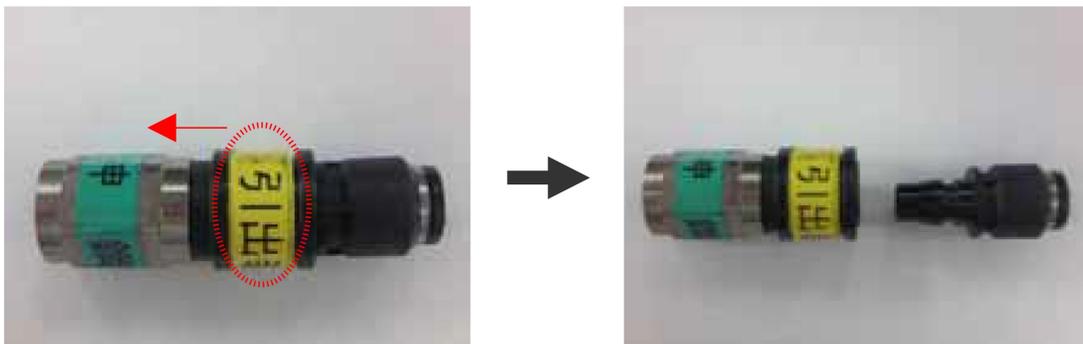
※プラグの点線部分をチューブと反対方向に押さえながらチューブを引っ張ると簡単に抜けます。



歯が入りします。

※②で説明した内部の金属歯が反対方向に押さえることにより、収納されチューブの噛みつきが開放されます。

③継手（プラグ）をチューブから外すとき



※ソケットの点線部分を矢印の方向へ引っ張ることによりロックが解除されプラグが簡単に外れます。
また、接続する場合はソケット側は何もせずプラグを差し込むだけでロックされ完了です。